



愛知県の子ども医療費助成制度の拡充について

意見書の提出を求める請願書

2019年 2月 20日


犬山市議会議長
ピアンキ アンソニー様

請願団体 新日本婦人の会犬山支部
支部長

[Redacted Name]

紹介議員

岡村千里 

岡 

【請願趣旨】

少子化の進行は、将来の生産年齢人口の減少につながり、子どもの健全な成長への影響だけでなく、社会経済のありかたにも影響を及ぼすことが懸念されています。子育て支援は少子化対策として重要であり、とりわけ子ども医療費助成は、子育て支援の大きな柱となっています。

現在、愛知県内では入院・通院とも「中学校卒業まで無料」は54市町村中49市町村であり、91%に及んでいます。犬山市も中学校卒業まで無料、さらにその後は1割の自己負担で18歳年度末まで助成されています。

愛知県では、「通院で小学校入学前まで、入院で中学校卒業まで」を対象に医療費助成制度が行われてきましたが、県内市町村独自の助成の実施状況を鑑みれば、愛知県の助成対象の一層の拡充が求められています。各市町村が今後も子ども医療費助成制度を安定的に維持できるよう愛知県に対して下記のとおり意見書を提出するよう請願いたします。

【請願項目】

- 1、愛知県の子ども医療費助成制度について、通院についても中学校卒業まで拡充するよう愛知県に意見書を提出してください。

